

センター
だより

第51号

多可町

西脇市

令和5年7月15日発行

公益社団法人

西脇・多可

シルバー人材センター

ホームページアドレス

<http://webc.sjc.ne.jp/nisitaka/>



本部 〒677-0024
西脇事業所 西脇市嶋253-1
TEL 0795-23-5686
FAX 0795-23-1568
E-mail : nisitaka@sjc.ne.jp

多可事業所 〒679-1114
多可郡多可町中区岸上224-12
TEL 0795-32-2209
FAX 0795-32-4131
E-mail : nitasc@sjc.ne.jp

JR 旧谷川線
へそ公園駅付近



【写真：会員提供】

センターだよりの案内

- ・ 理事長あいさつ、役員紹介 ————— 2
- ・ 令和5年度事業計画と予算 ————— 3
- ・ 安全・適正就業推進委員会からのお知らせ ————— 4
- ・ 令和4年度決算、ヘルメット着用努力義務 ————— 5
- ・ 健康情報「熱中症は予防が大事！」 ————— 6
- ・ 認知症ミニ知識 ————— 7
- ・ 会員福利厚生委員会からのお知らせ、その他 ————— 8

理事長あいさつ



理事長 村上 明廣

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですが、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素はシルバー人材センターの事業運営に格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、過去3年間はコロナ禍にあつて委任状出席による定時総会でありましたが、今年3月にはマスク着用ルールの緩和、連休明けにはコロナ感染症も5類に引き下げられるなど、平静を取り戻す社会経済活動にあつて、例年通り定時総会を開催することができました。出席者はコロナ前に比べやや少なかったのですが、定足数を確保し、上程議案について承認いただき、滞りなく終了いたしました事改めましてお礼を申し上げますと共に、会員の皆様には、コロナ禍での不便さの中、当センターの事業には多大なるご尽力とご協力を頂きました事重ねてお礼を申し上げます。

令和4年度を振り返りますと、少子高齢化が進む社会的背景にあつて、65歳迄の雇用確保措置の義務化や70歳までの就職機会確保の努力義務化の浸透もあり、当センターの会員数は、引き続き減少し667名となりました。併せて、適正就業の推進や新型コロナウイルス感染症も少なからず影響し、契約金額は4億2589万円となり前年比で94%に留まりました。一方、コロナ禍ではありましたが3年ぶりに、

共益事業の会員親睦旅行やグラウンドゴルフ大会を、会員のご理解を得て実施することができました。久しぶりに歓声があちこちであがり、コロナをも跳ね返すシルバーパワーを感じました。ありがとうございます。

さて、令和5年度の事業計画については、定時総会で承認いただきましたが、二点ばかりお願いさせていただきたく、宜しくお願い申し上げます。一点目は、会員確保のお願いであります。当センターの会員数は引き続き減少しております。近隣・知人・縁者等でまだまだ当シルバー人材センターの業務の内容を十分にご存知ない方がおられるかとも思います。会員による紹介制度もあります。体力に見合った仕事の内容も選択いただけます。傷害保険制度も充実しております。チームシルバーとして勧誘を頂きたく宜しくお願い申し上げます。

二点目は、「安全は全てに優先する」をスロガンに、会員の「安全意識の向上」と「事故防止対策」の一環として会員就業制限制度を令和2年6月より施行してきました。会員のヘルメット着用など「安全に対する意識」も高まり、事故件数は減少してきましたが、昨年度負傷事故は、夏場における屋外作業を中心に、13件にも増加しました。負傷事故は、家族にも迷惑がかり、後悔だけが残ります。日頃の体調管理、無理はしない、油断をしない等、今一度十分に気を付けていただきます様お願い申し上げます。最後になりましたが、人口減少に伴う雇用環境の変化など、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は厳しいものがございます。人生100年時代にあつて地域高齢者の豊かで積極的な生活の実現と、社会参加による生き甲斐の充実に向け取り組んでまいります。



高田洋明 副理事長 藤田喜晴 村上明廣 野添昭子 井上悦雄 吉田和夫 佐藤彰浩 藤田喜晴 齋藤博史 村上明廣 川尻澄子 上原敏伸 飛田和平 藤本寿宏 藤田喜晴

役員紹介

- 理事長 村上 明廣
- 副理事長 藤田 喜晴
- 常務理事 高田 洋明
- 理事 野添 昭子
- 理事 井上 悦雄
- 理事 細尾 道宏
- 理事 副田 龍次
- 理事 齋藤 博史
- 理事 川尻 澄子
- 理事 上原 敏伸
- 理事 吉田 和夫
- 理事 藤原 良規
- 理事 佐藤 彰浩
- 理事 藤本 寿宏
- 監事 飛田 和平

令和5年度事業計画と予算

去る5月26日、北はりま職業訓練センターにおいて定時総会を開催し、令和5年度の事業計画と予算を報告しました。

【事業計画】

一、基本方針

我が国の総人口は、令和2年にはおよそ1億2,600万人となっており、平成22年以降の10年間で、約200万人減少しています。

65歳以上人口の比率は、23.0%から28.6%に上昇し、人口減少と少子高齢化が進行する中、労働力の供給が制約され、その確保が重要な課題となっています。

また、高齢者の雇用環境も変化してきており、事業主に65歳までの雇用確保措置が義務付けられている中、令和2年には、70歳までの就業確保措置が努力義務とされました。

総務省の労働力調査によると、65歳以上の就業者数は、平成22年の570万人から令和4年には、912万人と大きく増加しています。

社会全体で高齢者の就業率が伸びる一方で、当センターの会員数は年々減少し、また、高齢化も進んでおり、平成22年度末に1,000人を超えていた会員数は、令和5年2月末には683人となり、平均年齢は73.8歳となっています。

高齢者の雇用環境の変化に加え、就業時間の是正などによる適正就業の推進等により、当センターの事業実績は減少が続いており、コロナ禍における社会・経済活動の抑制等も、事業運営に影響を及ぼすなど、シルバー人材センターを取り巻く環境は依

然として厳しいものがあります。

なお、本年10月から導入される「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」の影響による、当センターの事業運営への負担増に対しては、発注者のご理解を求めながら、受注料金の見直しにより対応します。

今後も引き続き、新たな会員の加入促進や就業機会の確保・拡大、安全就業のさらなる推進に努め、就業を通して、地域高齢者の豊かな積極的な生活の実現と、社会参加による生きがいの充実に向け取り組んでいきます。

二、事業内容

(1) 中期事業計画の策定

現在の中期事業計画(令和元年度～5年度)が最終年度を迎えることから、見直しが行われた兵庫県シルバー人材センター協会の事業推進計画と整合を図りながら、新たな計画策定に取り組みます。

(2) 会員の確保・拡大

安定した事業運営を図っていくため、入会説明会の開催等を通して、新たな会員の確保・拡大に取り組めます。

◆入会説明会を年間24回開催し、周知機会の拡充を図ります。

◆ホームページや市町広報紙、新聞への記事掲載、また、新規会員紹介制度やセンターだより等を通じた、会員による勧誘を促進します。

◆会員の友人など非会員の参加も呼びかけながら、おしゃれ講座等の女性交流会を開催し、交流を通じた女性会員の確保に取り組めます。

(3) 就業機会の開拓・拡大

積極的なシルバー人材センター事業のPRにより、ニーズの掘り起こしと就業機会の開拓に取り組めます。

◆ホームページや市町広報紙の活用を図る

とともに、市町イベントでのPRブースの企画を計画します。

◆介護保険の要支援者への訪問型サービスや家事支援、ファミリー・サポート事業(子育て支援事業)など、女性が活躍できる事業に取り組めます。

◆兵庫県シルバー人材センター協会が実施する労働者派遣事業及び有料職業紹介事業の実施事業所として事業を推進し、雇用による就業機会の拡大につなげます。

(4) 安全就業の推進

「安全は全てに優先する」を徹底し、会員の安全就業を推進します。

◆安全・適正就業ハンドブックの活用、センターだよりや安全・適正就業通信等の発行を通して、安全意識の向上に努めます。

◆センターだより等により日頃の体調管理を促すとともに、夏場における熱中症対策や事故発生時における注意喚起を行います。

◆草刈等の屋外就業については、担当職員による日頃の点検に加え、安全・適正就業推進委員等による現場への巡回指導を実施し、就業中の事故防止に努めます。

◆夏場における屋外就業について、土日以外での休暇日の確保や、一日の就業時間の短縮など、熱中症対策の検討を行います。

◆会員に対して、刈払機やチェーンソーの講習会等の受講料を支援し、技能の習得向上につなげます。

(5) 適正就業の推進

会員の入会時や業務の受注時に、就業形態や就業時間の上限など、シルバー人材センター事業の制限について、十分説明を行うとともに、不適正な就業があった場合は、発注者及び会員の理解を求めながら是正に努めます。

(6) 会員研修の実施

兵庫県シルバー人材センター協会と連携した剪定等の専門講習の開催や、西脇市が実施する子育て支援者研修への参加促進などを通して、会員のスキルアップを図るとともに、日頃からの安全意識の向上に向けて交通安全研修の実施を検討します。

(7) 共益事業(会員福利厚生事業)の実施

会員の拡大と会員相互の交流等を図るため、会員研修旅行やグラウンドゴルフ大会を実施します。

【 予 算 】

単位：千円

経常収益	予算額	経常費用	予算額
受託事業収益	357,164	事業費(公益事業・共益事業)	390,044
労働者派遣事業等受託収益	6,259	管理費(法人会計)	9,213
介護予防日常生活支援総合事業収益	1,543	経常費用計	399,257
受取会費	2,108	当期経常増減額	0
受取補助金	31,186	一般正味財産期首残高	255,010
その他(受取負担金・雑収益ほか)	997	一般正味財産期末残高	255,010
経常収益計	399,257		

安全・適正就業推進委員会からのお知らせ

当センターの令和4年度の会員の傷病・物損事故は13件で、令和3年度の2件から大幅に増加しました。就業中の機器等の操作誤りや転倒によるものが多く発生しましたが、作業中にハチに刺される事故も2件発生しています。就業途上の事故も4件あり、うち2件は車両同士によるものでした。また、入院件数も5件にのぼり、うち1件は、長期入院（56日間）となるものでした。会員の皆さんの安全に対する意識の高まりにより、平成29年度（23件）以降、事故件数は継続して減少してきていましたが、残念ながら、昨年度は多くの事故が発生してしまいました。

傷病・物損事故の多くは、作業中や就業場所でのほんの少しの油断から起こっています。「いつもの作業だから」、「いつもの場所だから」といった「慣れ」が油断を生み、時には重大な事故につながっています。会員の皆さん自身の身に及ぶことです。就業途上も含め、常に細心の注意を払い、事故防止に努めてください。また、この時期、熱中症等への暑さ対策にも努める必要があります。特に、屋外での作業では十分な水分補給とともに、異変を感じた場合は、無理せず、センターの担当職員に連絡して作業行程を調整するなど柔軟な対応を心掛けてください。

一方、会員が就業中に第三者に損害を与

えた賠償事故は、前年度から1件減少し9件でした。これまでも同様に、刈払機による飛び石が原因となる事故や、車の運転に関わるものが目立ちます。また、隠れていた構造物等に気付かず損傷する事故も3件発生しています。慣れた作業であっても、周囲の状況をしっかりと確認し、思わぬ事態が起こるかもしれないとの意識をもって作業に当たるように努めてください。

傷病・物損事故や賠償事故が起これば、その処理に多くの時間を要し、就業に支障が出ることも発注者にも多大なご迷惑をおかけすることになります。作業場所の安全確認、作業手順の確認、安全対策等を毎回怠らず、安全就業を心がけてください。今年度も、センターでは、7月を「安全・適正就業強化月間」と位置付け、安全・適正就業推進委員会による作業現場の巡回指導を実施するとともに、ペナルティ制度の運用などにより、会員の安全意識の向上とさらなる事故防止に努めていきます。

また、会員の就業が「臨時的かつ短期的（月10日程度以内）又はその他の軽易な業務（おおむね週20時間をこえない）」と定められている中、就業内容等の点検を行い、発注者と会員の理解を求めながらワークシエアリングの実施を図るなど、引き続き適正就業ガイドラインの遵守に努めていきます。

『安全は 全てに優先する』

令和4年度の西脇・多可シルバー人材センター事故発生状況

(1) 会員の傷病・物損事故

作業種別	事業所別		件数計	内 訳									
	西脇	多可		性 別		年 齢			通院	入 院			死亡
				男性	女性	60代	70代	80代		10日以内	11~29日	30日以上	
草刈・除草	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
剪 定	2	3	5	5	0	1	4	0	3	2	0	0	0
店内作業	2	1	3	2	1	0	2	1	1	1	0	1	0
就業途上	3	1	4	2	2	0	4	0	1	0	1	0	0
合 計	7	6	13	10	3	1	10	2	6	3	1	1	0



(2) 会員就業中の損害賠償事故

作業種別	事業所別		件数計	賠償内容別		
	西脇	多可		車両	家屋等	設備等
草刈・除草	3	2	5	2	2	1
剪 定	1	1	2	0	0	2
運 転	1	1	2	0	1	1
合 計	5	4	9	2	3	4



令和4年度決算から

当センターにおける契約金額は、地域経済の影響や適正就業の推進、会員数の減少等により平成28年度から減少傾向が続いています。さらに、令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症による就業機会縮小の影響を受け、受託事業収益は前年度と比較して6.2%の減となりました。

一方、派遣事業受託収益については、前年度比で5.7%の増加となっています。

また、会員数については667人で、男性・女性会員ともに前年度から減少し、特に男性会員の減少が顕著となっています。

【会員の状況】

区分	令和4年度末	令和3年度末
男	427人	483人
女	240人	254人
計	667人	737人
平均年齢	73.8歳	73.6歳

【令和4年度決算】

〈収益〉

単位：千円

経常収益 395,488	受託事業収益	353,558
	派遣事業受託収益	6,508
	生活支援総合事業収益	1,532
	受取会費	2,132
	受取補助金	31,186
その他	572	
経常外収益	固定資産受贈益	0

〈費用〉

単位：千円

経常費用 396,592	事業費	388,266
	管理費	8,326
経常外費用	固定資産除却損	0

〈収益－費用〉

単位：千円

経常収益 + 経常外収益	395,488
経常費用 + 経常外費用	396,592
当期一般正味財産増減額	△ 1,104

自転車に乗る際はヘルメットをかぶりましょう！

令和5年4月1日から自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化となりました

「自転車安全利用五則」を守りましょう！

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 **ヘルメットを着用** ※令和5年4月1日から

業務中に
自転車に乗る時も
お忘れなく



どんなヘルメットを
選べばいいの？



SGマーク



JISマーク

自転車用ヘルメットは、SG（一般財団法人製品安全協会）マークやJIS（日本工業規格）マークなどの付いた、衝撃吸収性能などの安全基準を満たした製品を選ぶのがよいでしょう。

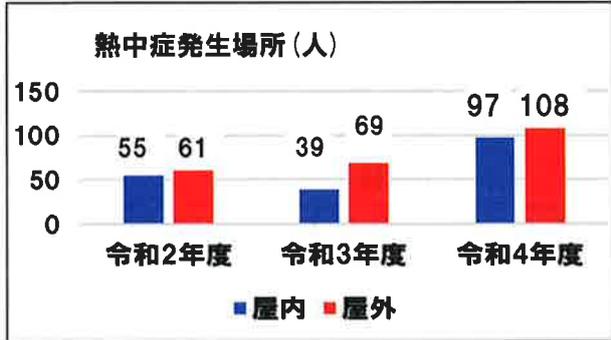
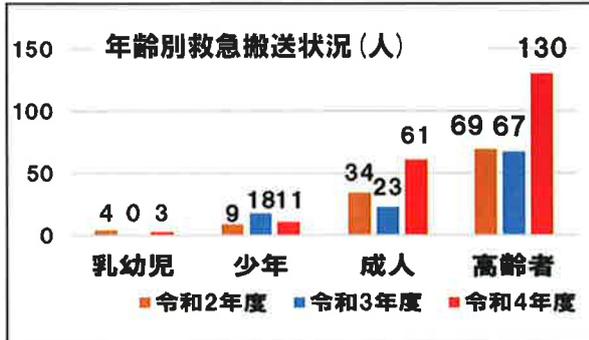
蒸し暑い日は、
特に注意!!

熱中症は予防が大事!



近年、高齢者が熱中症で救急搬送される件数が増加しています!

エアコンや扇風機、換気により温度や湿度を調整して、暑さを避けこまめに水分補給をしましょう。



北はりま消防組合ホームページより抜粋

☑ 予防法ができているかをチェックしましょう

エアコン・扇風機を上手に使用している



部屋の温度を測っている



部屋の風通しを良くしている



こまめに水分・塩分を補給している



シャワーやタオルで体を冷やす



暑い時は無理をしない



涼しい服装をしている
外出時には日傘・帽子



涼しい場所・施設を利用する



緊急時・困った時の連絡先を確認している



環境省ホームページより抜粋

1日に必要な水分摂取量は1.2リットル以上です!

- ☑ バランスのよい食事に、新鮮な野菜や果物を取り入れる
- ☑ 汁物(豚汁・ポタージュ等)、ゼリー、プリンを食べる
- ☑ コップ1杯の水を1日6~8回飲む
(起床時・食事後や間食時・風呂上がり前後・就寝前)
- ☑ 利尿作用があるコーヒーや緑茶は控える
- ☑ 汗をかく作業や運動の後、またはアルコールの摂取時は、意識して多めに水分をとる



「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違い（一例）

	加齢によるもの忘れ	認知症によるもの忘れ
体験したこと	一部を忘れる 例)朝ごはんのメニュー	すべてを忘れて 例)朝ごはんを食べたこと自体
もの忘れの自覚	ある	ない（初期には自覚があることが少ない）
探し物に対して	(自分で) 努力して見つけようとする	誰かが盗ったなどと 他人のせいにする可能性がある
日常生活への支障	ない	ある
症状の進行	極めて徐々にしか進行しない	進行する

認知症とよく似た状態(うつ、せん妄*)や、認知症の状態を引き起こす体の病気もいろいろあるため(甲状腺機能低下症など)、早期に適切な診断を受けることは大切です。 ※政府広報オンラインより抜粋

*せん妄 … 一時的に意識障害や認知機能の低下が起こり、混乱状態になること 病気でなく、意識障害のひとつ



認知症のミニ知識

今からできる予防のために



認知症の予防のために 体の中から予防

バランスの良い食事内容を心がけることは生活習慣病などほかの疾患の予防にも役立ちます ぜひ実践しましょう。

- 予防に期待できる食べ物(一例)
- ・青魚
 - ・緑黄色野菜や果物
 - ・豆類、大豆製品
 - ・オリーブオイル
 - ・カレー
 - ・コーヒー、緑茶

※効果を保証するものではありません。本格的な食事療法をしたい方は専門家に相談しましょう。また、食事制限のある方はかかりつけ医に相談して下さい。

体を動かして予防

- ・適度な運動をする
ウォーキング、その場足踏みなど
- ・頭のトレーニングをしながら散歩
数を数えて3の倍数の時だけ手をたたきしりとりしながら歩いてみる
- ・社会的活動への参加
ボランティア活動、地域活動など人との接触を増やす
- ・調理をする
何を作るか?材料はどう切るか?など複数の作業を同時に行うのでオススメです

※丹波市シルバー人材センター広報誌「シルバーたんば」第59号より引用

このような症状がないかチェックしてみましょう

このテストは、認知症のごく初期、認知症の始まり、あるいは認知症に進展する可能性がある状態(軽度認知障害)を、ご自分や家族などが簡単に予測できるように考案されたものです。

大友式認知症予測テスト (認知症予防財団HPから抜粋)

質問項目	ほとんどない	ときどきある	頻繁にある
同じ話を無意識に繰り返す	0点	1点	2点
知っている人の名前が思い出せない	0点	1点	2点
物のしまい場所を忘れる	0点	1点	2点
漢字を忘れる	0点	1点	2点
今しようとしていることを忘れる	0点	1点	2点
器具の説明書を読むのを面倒がる	0点	1点	2点
理由もないのに気がふさぐ	0点	1点	2点
身だしなみに無関心である	0点	1点	2点
外出をおっくうがる	0点	1点	2点
物(財布など)が見当たらないことを他人のせいにする	0点	1点	2点
該当する項目の数字を合計して下さい	点		

0点～8点	正常	もの忘れも老化現象の範囲内。疲労やストレスによる場合もあります。8点に近かったら、気分の違う時に再チェックを。
9点～13点	要注意	家族に再チェックしてもらったり、数か月単位で間隔をおいて再チェックを。認知症予防策を生活に取り入れてみたらいかがでしょうか。
14点～20点	要診断	認知症の初期症状が出ている可能性があります。家族にも再チェックしてもらい、結果が同じなら、専門医や担当の地域包括支援センターへご相談ください。

令和5年1月に兵庫県シルバー人材センター協会の安全就業スローガンの募集をしたところ、たくさんのご応募をいただきありがとうございます。うち3点を推薦したところ惜しくも選考には残りませんでした。当センターで今後活用させていただきますので、ご紹介させていただきます。

- ・私の安全 あなたの安全 みんなに気くばり
- ・あなたの安全 私も安全 仕事は万全
- ・安全第一再確認 命を守る第一歩

ひとり一人の安全意識の高揚が事故防止につながります。常日頃から意識するよう心がけていきたいものです。

健康で働くために



健診で安心を届けたい



年に一回は健診を受けましょう

会員福利厚生委員会からの
お知らせ

会員親睦旅行について

今年度も日帰りバス旅行を実施することになりました。
行先などの詳細は決定次第改めてお知らせいたしますので楽しみに！
みなさん予定を開けておいてくださいね。



【実施日】10月28日(土)
【行先】未定

グラウンドゴルフ大会開催の案内

今年度もグラウンドゴルフ大会を下記日程にて開催します。
申し込み等、詳細は改めてご案内いたします。

【実施日】9月30日(土)
【場所】日本のへそ日時計の丘公園
(黒田庄町)
【時間】午前10時 開始

一緒に体を動かして交流を深めていきましょう！



表紙の写真募集！！

センターだよりの表紙に使う写真を募集します
あなたが撮ったとっておきの一枚を表紙にしませんか？

次号は1月発行です



＜ 応募要領はこちら ＞

- ◆ J P Gのデジタルファイル、または印画紙にプリントした写真を、事務局までご持参ください。メールでの応募も可能です。預かったデータやプリント写真は返却します。
- ◆ お一人1点まで ※被写体に人物が入る場合は必ず掲載の承諾を得てください。
- ◆ 応募者氏名、連絡先、撮影場所や時期の簡単な説明を教えてください。
- ◆ 応募していただいた写真は広報委員会で選定します。表紙として掲載させていただいた方には景品をお渡しします。応募者全員に参加賞を用意しておりますのでぜひご応募ください。



ご不明な点は事務局までお問い合わせください。TEL：23-5686